

2021年度 入学試験における新型コロナウイルス感染症に関連する注意事項

※新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない場合は、他の受験生や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。

(1) 試験前

- ① 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」（密集、密接、密閉）の回避など行うとともに、健康管理を心がけてください。
- ② 試験日の14日程度前から、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診し、適切な治療を受けてください。
- ③ 試験日の7日前から、毎朝体温測定を行い体調の変化の有無を確認してください。
- ④ 保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている場合や、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の健康観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した場合は、別室で受験していただきます。状況がわかり次第、できるだけ早く、電話でご連絡ください（03-3420-0136 平日・土曜日9:00～17:00）。
- ⑤ 試験当日、校内ではマスクを着用してください。フェイスシールドやマウスシールドのみで受験することはできません。マスクの着用が困難な事情がある場合は、別室受験となりますので、あらかじめ電話でご連絡ください。

【補足説明】

④における別室受験のためには、PCR検査の結果が陰性であり、症状がないことが必要です。このファイルの3ページ目にある「健康観察チェックシート」をご確認ください。PCR検査の結果が陽性で新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、保健所より療養の指示が出されますので、受験は出来ません。

(2) 試験当日

① 体調不良時

- 試験当日の朝、自宅で「健康観察チェックシート」(p.3)の項目を確認してください。
- チェックを入れられない項目がある場合は、別室で受験することになります。本校まで電話でご連絡ください。入試当日は7:00よりご連絡いただけます(03-3420-0136)。

② 入校時

- 校内では、常にマスクを着用してください。
- 入校時にサーマルカメラによる体温測定を行います。
- サーマルカメラは基本設定37.0℃(測定精度±0.5℃)です。37.0℃以上の場合は、腋窩体温計で測定し、37.5℃以上の場合は別室で受験していただきます。
- アルコール製剤を設置しますので、入校時や入室ごとに手指消毒を行ってください。
- アルコール製剤を使用することが難しい場合は、これに代わるものを準備し、手指消毒を行うようにしてください。

③ 休憩時間

- 休憩時間ごとに試験会場の換気を行います。
- 温度調節のできる服装をご用意ください。
- トイレを使用する場合は、フロアの誘導指示に従い、お互いの距離をとってください。
- 手洗い後に使用するハンカチ等は各自で持参してください。
- 休憩時間の栄養補給はできますが、飲食のためマスクを外す際は、会話は控えてください。

④ 昼食場所は設置していません。

(3) その他

① 本校教職員等入試関係者の感染防止対応

- マスク着用および手洗い・手指消毒を徹底します。
- 試験前日までの14日間および試験当日の毎朝の体温測定と健康観察を徹底します。

② 試験終了後に、受験生、本校教職員等入試関係者のうち、新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合は、保健所等行政機関が行う必要な調査への協力を行います。このとき、必要な個人情報を提供する場合があります。あらかじめご了承ください。

健康観察チェックシート

新型コロナウイルス感染症に関連する健康観察（自宅チェック用）

※新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない場合は、受験できません。

試験当日、朝の体温は何度でしたか。

. °C

試験当日、以下の項目をチェックしてください。

- 37.5 度以上の発熱がない
- 咳、のどの痛みなどの風邪症状（軽い症状も含む）がない
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない
- 味覚や嗅覚の異常がない

次の項目は、保健所等から濃厚接触者に該当すると判断された方のみ確認してください。

- 試験日前日までに 14 日間の観察期間が終了している

※チェックが入れない項目がある場合、

受験生：あらかじめご連絡ください。

保護者：入校できません。ご了承ください。

この用紙を提出する必要はありません